

単元名 算数の自由研究
配当時間 1 時間

単元の目標 (1) 迷路を通る時のきまりや、迷路の作り方を理解し、迷路の通り方を考えたり、いろいろな迷路を作ったりすることができる。
 (2) 見通しをもちながら迷路の構成を考えることができる。
 (3) 迷路作りに興味を示し、意欲的に取り組もうとする。

標準的な展開例

03040112_001

【準備等】 5 ミリ方眼用紙, 定規

| 学 習 活 動 | 留 意 事 項 な ど |
|---|---|
| 1 算数の自由研究について考える。[p. 94・p. 95] ○ シンデレラ城の迷路に取り組む。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ めいろづくりの自由研究をしてみよう。 ○ いろいろな迷路を自分で作る。 ○ 作った迷路を友達と交換して解き合う。 | ・ 本単元では習得ではなく、試行錯誤や思考を通して、算数の楽しさを実感させる。 ・ 迷路の形や進路に注目させ、迷わせる工夫を気付かせる。 ・ 5 ミリ方眼用紙を用意し、罫線を利用して迷路を作らせる。 【評】 迷路を作成する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・ 子ども同士で形や進路の工夫を評価し合う。 |

【 備 考 】

本単元は、長期休業を利用した家庭学習の一環として、算数を主体的に学ぶきっかけの場として設定されている。そのため、本時で学習する内容は長期休業に児童自らが探求し続けられるよう、興味・関心のもてる課題として迷路作りが用意されている。そのため、本時における迷路の作成では方眼紙を利用し、あまり大きくなく作りやすい迷路を作らせ、迷路作りの楽しさを味わわせたい。そうすることで児童の興味・関心をさらに高め、長期休業での主体的活動へとつなげたい。